

## モ一暑の中、盛大に 第2回国東市畜産品評会

7月31日(火)午前9時から、安岐町油留木のJA畜産センターで、第2回国東市畜産品評会が行われました。

この品評会には、市内から黒毛和牛の雌の部第1区(平成18年7月2日～平成19年1月1日生)に13頭・第2区(平成18年7月2日～平成19年1月1日生)に10頭の出品がありました。

大分県家畜保健衛生所の職員2名と東部振興局の専門職員1名の3名の審査員により、発育状況や身長、体重等の審査基準に基づいて厳正な審査が行われました。



岐部和生市畜産品評会実行委員長の話。「今日出品された牛は、どれも国東産の和牛ばかりです。この品評会を契機に、畜産農家がさらに連携を強化して情報交換を密にして、経営の安定化を図るとともに、“国東牛”の銘柄化に向けて、ともに頑張っていきたいと思います。」

見事入賞した牛は次のとおりで、9月7日(金)に杵築市山香町で行われる第43回東部地域畜産共進会に出品されます。(敬称略)

### 第1区

グランドチャンピオン賞

「第2さかえ」	河野 陽一 (安岐町)
最優秀賞 「ひろえ1」	神田 菅生 (国東町)
「ゆたか10」	衛藤 貢 (安岐町)
「もみじ」	河野 光文 (国東町)
「うらら30」	一井 泰典 (国東町)

### 第2区

グランドチャンピオン賞

「第2ももか6」	一井 泰典 (国東町)
最優秀賞 「ふくはる2」	安岐畜産センター
「さかえ」	森本 直子 (武蔵町)
「ひめふく4」	松原 省吾 (武蔵町)

## 国見町赤根区で鹿ネット囲い込み作戦

国見町赤根区(大石勝也区長・42戸)で、残暑の厳しい8月22日(火)から5日間かけて、区民総出で鹿ネットの設置作業に汗を流しました。

赤根地区では、毎年せっかく実った稲やしいたけ等の農作物が、鹿やイノシシの被害にあうことから、区集会を開いて区民の意見をまとめ、地区内の農地やしいたけのほだ場等を鹿ネットで囲い込むという大事業を計画しました。

5日間で張りめぐらされた鹿ネットの延長は7,100メートル。総事業費は約300万円で、県と市の補助がそれぞれ3分の1となっています。



▲鹿ネット張りに汗を流す赤根区の皆さん